

製造・技術・品証部門／事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門 区分ガイドライン

QCサークル本部

2007年（平成19年）5月15日 制定

2010年（平成22年）3月1日一部改訂

2011年（平成23年）8月3日一部改訂

2012年（平成24年）3月6日一部改訂

2013年（平成25年）3月1日一部改訂

1. 目的：

QCサークルが体験事例を発表するにあたり、製造・技術・品証部門／事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門の部門別に発表する場合に、発表サークルが自分達の体験事例を発表する部門を判断する目安とする。

2. 判断の拠り所：

製造・技術・品証部門／事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門の区分けは、活動対象となる業務が、『モノ（ハード）づくりを主体とした製造業務、もしくはそれに関わる技術・品質保証業務に関するもの』は、製造・技術・品証部門とし、それ以外を事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門とすることを原則とする。

また、部門の区分けは、そのサークルが所属する企業の業種や会社の部門ではなく、そのサークルの対象とするテーマによって判断されるものである。

判断に迷う場合には、主催者に相談するか、もしくは製造・技術・品証部門での発表を優先させることとする。

3. 補 足：

表-1に製造・技術・品証部門／事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門のおおまかな括りを示すので、それを参照していただきたい。

【区分例】：

業 務	テーマ例	部 門
1. 物流・運送・運搬	倉庫のスペースの改善・有効活用	事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門
2. 物流・運送・運搬	在庫削減	事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門
3. 物流・運送・運搬	運搬の効率化	事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門
4. 食品などの店頭販売	売上げ向上	事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門
5. 飲食店などの接客	接客方法の改善(お客様満足度の向上)	事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門
6. アフターサービス	巡回の効率化	事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門
7. アフターサービス	交換・修理の効率化	事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門
8. メンテナンス	機器の故障トラブルの再発防止	製造・技術・品証部門
9. メンテナンス	お客様との対応の改善	事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門
10. 検査・品質保証	検査漏れの撲滅	製造・技術・品証部門
11. 検査・品質保証	検査データのデータベース化(管理の効率化)	事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門

以上

表-1

製造・技術・品証部門／事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門区分ガイドライン

製造・技術・品証部門		事務・販売・サービス〔含む医療・福祉〕部門	
製 造	加工，組立，塗装，包装，加工装置・設備の運転・管理 部品・材料・素材の製品ラインへの供給・運搬・投入	事 務	人事，労務，法務，知財，経理，財務，会計，広報，IR，購買，調達，資材，生産管理，品質管理，受付，秘書，人材育成 その他庶務一般
技 術	生産技術，設備・機器の保守・保全，維持・管理・メンテナンス 技術開発，研究 設備工事，建設 鉄道や電力などの大型設備の工事・メンテナンス	販 売	営業（個人・法人，国内・海外），営業企画，マーケティング，営業サポート 販売・セールス，小売り コンシューマー製品のアフターサービス，メンテナンス
品質保証	検査，実験・評価，品質保証，品質監査 部品・原材料・素材の受け入れ検査	サービス	医療，看護，介護，清掃 ホテル・旅館，教育・コンサルタント，不動産仲介 運送・運搬，保管 ソフトウェア（アプリケーション，データベース，ネットワークなど）の開発，プログラミング，サポート カスタマーサポート，コールセンター，ヘルプデスク 食堂・レストランや駅，車両などでの接客 銀行，証券

* Q C サークル本部・支部規定より抜粋